



高耐候性ラジカルプロテクト・ハイブリッド樹脂塗料改修システム

ウォールバリアシリーズ

WALL BARRIER SERIES

SUZUKA

ウォールバリアシリーズ

No.6

高耐候性ラジカルプロテクト・ハイブリッド樹脂塗料改修システム



スズカファイブ株式会社

建築塗料の総合メーカー



スズカファイブ株式会社

その家は ウォールバリア仕様



大切な家でずっと暮らしたいというシンプルな願い。「家」を思い考え抜かれた機能。
美しい「家」をそのままの美しさで次の世代へ。ウォールバリアは「変わらない」を追求しました。

ウォールバリアシリーズ

【上塗】

◆ラジカル制御形ハイブリッド樹脂塗料

水系

- 水性2液反応硬化形無機系塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ウォールバリア水性無機2+

- 水性2液反応硬化形ふっ素・無機塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ウォールバリア水性F2

- 水性1液反応硬化形シリコン樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ウォールバリア水性Si

- 水性1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形2種相当品

ウォールバリア水性U

- 水性1液反応硬化形強力防かび・防藻シリコン樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

ウォールバリア水性BIO

1液弱溶剤系

- 弱溶剤1液反応硬化形無機系塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

1液ワイドウォール無機

- 弱溶剤1液反応硬化形NADふっ素樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

1液ワイドウォールF

- 弱溶剤1液反応硬化形NADシリコン樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

1液ワイドウォールSi

- 弱溶剤1液反応硬化形NADウレタン樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形2種相当品

1液ワイドウォールU

- 弱溶剤1液反応硬化形強力防かび・防藻NADシリコン樹脂塗料

JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品

1液ワイドウォールBIO

【下塗】 窯業系サイディングボード改修用

- 水性1液エポキシ系改修用微弾性サーフェーサー

WBリメイクサーフEPO

- 弱溶剤2液エポキシ変性有機・無機ハイブリッド透明シーラー (特殊コーティングサイディングボード用)

WBグリップシーラーEPO

【下地調整塗材】 コンクリート・モルタル改修用

- 水性1液エポキシ系改修用弾性フィラー

WBリメイク弾性フィラーEPO

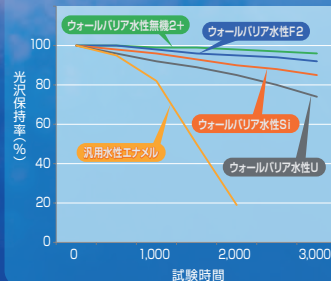
- JIS A6909建築用仕上塗材 可とう形改修塗材RE

WBリメイク弾性フィラーRE

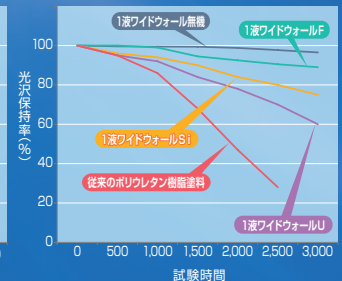
耐候性試験結果

促進耐候性試験(キセノンランプ法)

【水系】



【弱溶剤系】



仕上がり見本

窯業系サイディングボード塗替えイメージ



コンクリート・モルタル塗替えイメージ(さざなみ模様仕上げ)



既存素地 WBリメイクサーフEPO ウォールバリア水性Si 旧塗膜 WBリメイク弾性フィラーEPO 1液ワイドウォールSi

〈可使時間〉

塗料		気温	5~15℃	15~25℃	25~35℃
下塗り	WBグリップシーラーEPO		7以内	5以内	3以内
	ワイドさびストップ		7以内	5以内	2以内
上塗り	ウォールバリア水性F2		8以内	5以内	3以内
	ウォールバリア水性無機2+		8以内	5以内	3以内



ウォールバリアクリヤーシリーズ

ウォールバリアクリヤーシリーズは、高意匠窯業系サイディングボードのデザイン性を損なうことなく、新築の美しさをよみがえらせます。

水系

水性2液反応硬化形有機・無機ハイブリッド樹脂クリヤー

ウォールバリア水性無機CR ウォールバリア水性無機CR 3分つや

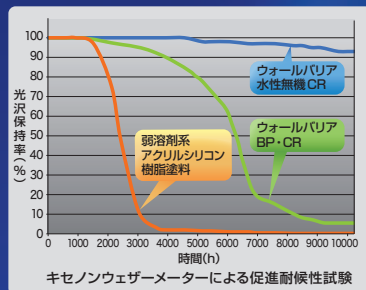
※塗膜の反応硬化中に水分が塗膜に接触すると白化する恐れがありますので、水分の影響が予想される場合は塗装を避けてください。

▶ 特長

- 超高耐性・超高耐久性
- 高いUVカット機能
紫外線吸収剤配合により、塗膜の劣化原因とされるUV-A領域の波長をほとんどカットします。
- 超低汚染性
- 付着性
- 防藻・防かび性

▶ 可使用時間

● ウォールバリア水性無機CR	温度(℃)	5~15℃	15~25℃	25~35℃
	可使用時間	8h以内	5h以内	3h以内



弱溶剤系

弱溶剤2液反応硬化形シリコン変性樹脂意匠性クリヤー(黒色粒入り)

ウォールバリアBP ウォールバリアBP 3分つや

弱溶剤2液反応硬化形シリコン変性樹脂クリヤー

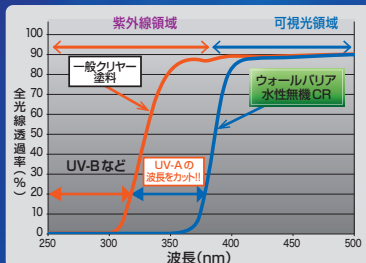
ウォールバリアCR ウォールバリアCR 3分つや

▶ 特長

- 優れた耐候性
- 優れた密着性
- 低汚染性
- 弱溶剤系

▶ 可使用時間

● ウォールバリアBP・CR	温度(℃)	5~15℃	15~25℃	25~35℃
	可使用時間	8h以内	5h以内	3h以内



ウォールバリアBP 3分つや仕上げ



微小な黒色粒子配合によりクリヤーの質感を向上させた意匠性クリヤーです。

用途

建築物の内外壁

商品体系

系統	商品名	容量
水系	ウォールバリア水性無機CR	15kg セット(14:1)
	ウォールバリア水性無機CR 3分つや	15kg セット(14:1)

系統	商品名	容量
弱溶剤系	ウォールバリアBP	16kg セット(14:2)
	ウォールバリアBP 3分つや	16kg セット(14:2)
	ウォールバリアCR	16kg セット(14:2)・4kg セット(3.5:0.5)
	ウォールバリアCR 3分つや	16kg セット(14:2)・4kg セット(3.5:0.5)

塗装上の注意事項

塗装の可否を判断するため、窯業系サイディングボード表面の劣化程度を以下の方法でご確認ください。

● 塗装可否判定方法

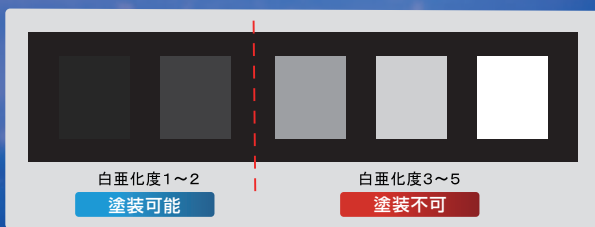
① 窯業系サイディングボードヘカッターでクロスカット(×印の切り込み)を入れ、布ガムテープにて剥離の有無を確認。

- ・ 既存塗膜やクリヤー層の剥離がない → **塗装可能**
- ・ 既存塗膜やクリヤー層の剥離がある → **塗装不可**

② 塗膜表面を自然乾燥させた窯業系サイディングボードへ透明なセロハンテープを貼って十分に圧着した後に剥がし、セロハンテープに付着した白亜化物(チョーキング)を黒の台紙の上で確認。

- クリヤー仕上げは下地の状態に影響を受けやすいため、下地の劣化が著しい場合は塗装を避けてください。ヘアークラック等の無い、新築から10年程度での塗替えが目安です。
- 10年以上経過した窯業系サイディングボードや、耐候性の低い仕上げの窯業系サイディングボードの場合、劣化が進行し、基材内部から剥離する可能性がありますので、特に劣化の進んだ南面などで試験塗装を行い、付着性を確認してください。
- 既にクリヤーで塗替えを行っている物件の場合は、既存クリヤーと下地の層間で剥離する恐れがありますので、塗装を避けてください。
- 本製品は、本品2回塗り仕上げですので、他の下塗等は使用しないでください。
- 高圧水洗後は、必ず晴天下で1日以上乾燥させてください。
- 強靱なクリヤー塗膜を形成するため、繊細な硬化反応機構となっておりますので、塗装条件をより厳格に管理してください。
- 3分つやの主剤は、つや消し剤が沈殿するおそれがありますので、必ず缶を逆さまにして、よく振り、均一にしてからご使用ください。また、小分けで使用される際は、特にご注意ください。
- 沈殿防止のために缶を振る回数目安は、新しいLot(製造後1ヶ月程度まで)のもので10回以上、古いLot(2ヶ月以上)では30回以上振ってからご使用ください。
- 3分つやは、ローラー塗装の場合、塗継ぎむら、艶むらを起こす可能性があります。素地の形状によってはスプレー塗装をお奨めします。
- 塗膜に泡を巻き込んだ状態で乾燥すると乾燥塗膜が白く濁って見えますので、塗料の攪拌や塗装時にはできるだけ泡を巻き込まないようにご注意ください。

※裏面の施工上の注意事項も必ずご確認ください。

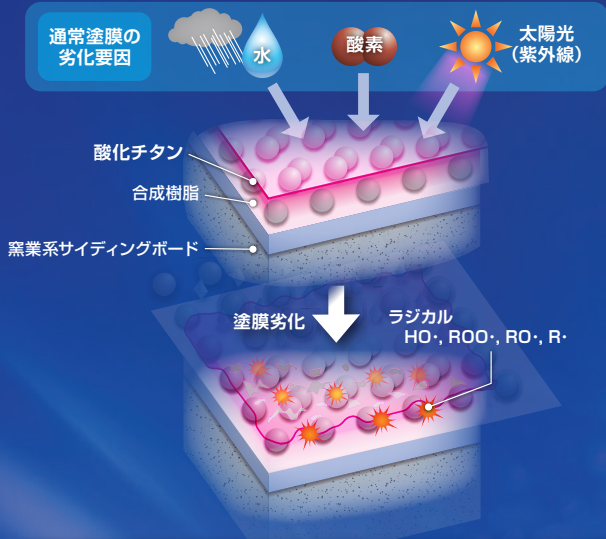


- 3分つやは素地の形状や状態、色相などでつやが異なって見える場合があります。
- ローラー塗装の場合、つやむらを避けるため、ローラー運行は同じ方向で仕上げてください。
- 塗膜の付着不良・白化の恐れがありますので、塗装中および最終養生期間中に、気温5℃以下、湿度85%以上にならない日を選んで塗装してください。気温5℃以上の場合でも、風が強い日は壁面の温度が低下する場合がありますので、ご注意ください。また、北面など日当たりの悪い箇所は、養生期間が長くなりますのでご注意ください。
- 長期間貯蔵された硬化剤は使用しないでください。また、開缶後は速やかに使用してください。硬化不良の原因となります。特にウォールバリア水性無機CRの硬化剤は保管状態によって反応硬化性が低下しても、硬化剤自体が固まる等の変化を生じませんので十分ご注意ください。
- 塗装中および塗膜の反応硬化中に、水分が塗膜に接触すると白化する恐れがありますので、水分の影響が予想される場合は、塗装を避けてください。反応硬化が進んでいる場合は、白化しても1~2週間程度で塗膜が元の透明に戻りますが、反応硬化初期に白化した塗膜は、元に戻らない場合がありますので、雨水・結露等、水分の影響を受けないよう十分ご注意ください。(特にウォールバリア水性無機CRはご注意ください)
- 目地が深い場合は、はけなどで塗装してください。また、目地部に塗料がたまった場合は、むら切りしてください。
- ウォールバリアBP・CRの塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000またはスズカシンナー#2000をご使用ください。

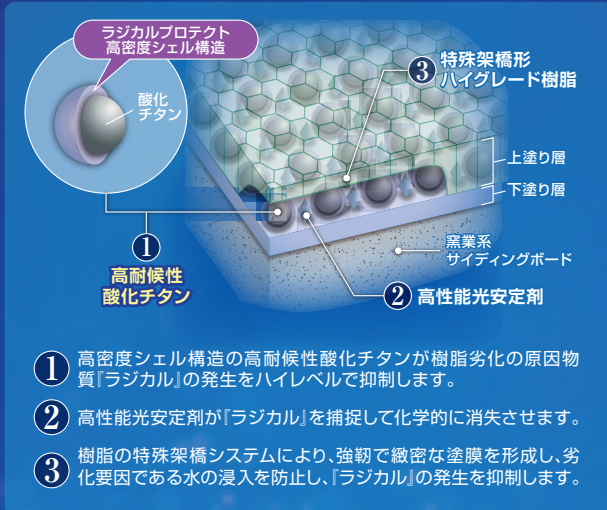
ウォールバリア水性シリーズ・1液ワイドウォールシリーズ

スーパープロテクト機能により耐候性をグレードアップ

劣化のメカニズム



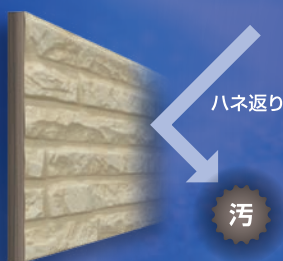
高耐候性の理由



- ① 高密度シェル構造の高耐候性酸化チタンが樹脂劣化の原因物質「ラジカル」の発生をハイレベルで抑制します。
- ② 高性能光安定剤が「ラジカル」を捕捉して化学的に消失させます。
- ③ 樹脂の特殊架橋システムにより、強靱で緻密な塗膜を形成し、劣化要因である水の浸入を防止し、「ラジカル」の発生を抑制します。

低汚染のメカニズム

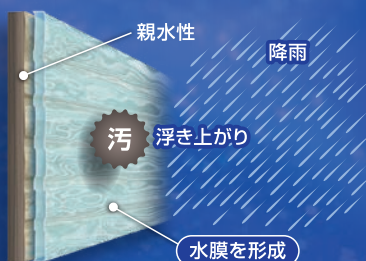
① タックフリー効果



② 帯電防止効果

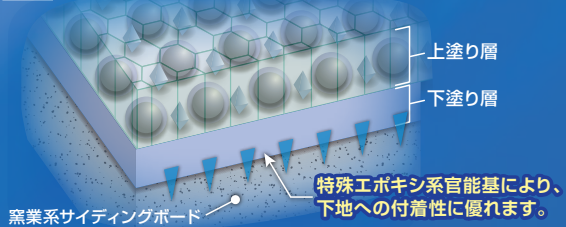


③ 親水性効果 ※1



その他の特長

1 ウォールバリアシリーズ専用下塗りとの組み合わせにより、建物の保護機能を長期間維持します。



2 透湿性能を有する塗膜は、下地の水分を水蒸気として放散し建物の保護機能を更に高めます。 ※1

3 つやのバリエーションが豊富にあり、建物にマッチした美しい仕上がりが得られます。

4 環境に配慮した安全性に優れる独自のバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。 ※2

※1 水性上塗材が有する機能です。

※2 BIOシリーズは、更に強力な防かび、防藻タイプです。

商品体系

商品名	系統	容量	仕上がり	色相
ウォールバリア水性無機2+	水系	15kgセット(14:1) 3kgセット(2.8:0.2)	つや有り 7分つや 5分つや 3分つや	白・黒・赤 赤さび色 オーカー色 黄色・紺・調色品 (淡彩色・中彩色 濃彩色)
ウォールバリア水性F2				
ウォールバリア水性Si				
ウォールバリア水性U				
ウォールバリア水性BIO	弱溶剤系	15kg・4kg	つや有り 7分つや 5分つや 3分つや	透明
1液ワイドウォール無機				
1液ワイドウォールF				
1液ワイドウォールSi				
1液ワイドウォールU	水系	15kgセット(14:1)	つや有り 3分つや	透明(黒色粒入り)
1液ワイドウォールBIO				
ウォールバリア水性無機CR	弱溶剤系	16kgセット(14:2) 4kgセット(3.5:0.5)	つや有り 3分つや	透明
ウォールバリアBP				
ウォールバリアCR				

【窯業系サイディングボード用】

商品名	系統	容量	仕上がり	色相
下塗り WBリメイクサーフEPO	水系	15kg	—	白
WBグリッブシーラーEPO	弱溶剤系	15kg	セット(13:2)	透明

【コンクリート・モルタル用】

下地調整塗材 WBリメイク弾性フィラーEPO	水系	15kg	—	白
WBリメイク弾性フィラーRE※				

※WBリメイク弾性フィラーRE：JIS A6909可とう形改修塗材RE

【金属サイディングボード・一般鉄部用】

下塗り	ワイドさびストップ	弱溶剤系	16kgセット(14.4:1.6) 4kgセット(3.6:0.4)	—	白・グレー・黒 赤さび色
	1液ワイドさびストップ		16kg・4kg		
エポマルド			16kg・4kg※	—	白・グレー・黒 赤さび色 エクセルブラウン セピアグリーン ルーフブラック ルーフブラウン

※エクセルブラウン、セピアグリーン、ルーフブラック、ルーフブラウンは16kgのみ

塗替施工仕様書

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工程	塗材	割合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
1	下地調整					●既存塗膜の厚さ、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧: 15MPa以上)で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング面は予めラフトン逆プライマーを塗装する。

■窯業系サイディングボード

●下塗り

2	下塗り	WBリメーカーサフEPO 清水	100 3~5	0.1~0.25	1	3時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	--------------------	------------	----------	---	-------	---------------------

※コンクリート・モルタル下地の改修にも使用可能です。

●下塗り [下地: 特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)窯業系サイディングボード用]

2	下塗り	WBグリップシーラーEPO (無希釈)	100 (無希釈)	0.08~0.18	1~2※	4時間以上 7日以内	ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	------------------------	--------------	-----------	------	---------------	---------------------

※下地の吸い込みが著しい場合は2回塗りし、工程内での施工間隔は3時間以上

■コンクリート・モルタル等

●下塗り [ウールローラー仕上げ] 既存塗膜: リシン・吹付タイル等

2	下塗り	WBリメーカーサフEPOまたはE 清水	100 5~10	0.3~0.5	1	5時間以上	ウールローラー塗り
---	-----	------------------------	-------------	---------	---	-------	-----------

●下塗り [さざなみ模様仕上げ] 既存塗膜: リシン・吹付タイル等

2	下塗り	WBリメーカーサフEPOまたはE 清水	100 1~3	0.8~1.5	1	8時間以上	パターンローラー塗り
---	-----	------------------------	------------	---------	---	-------	------------

●上塗り

●水系仕様

3	上塗り	ウォール(リア)水性シリーズ 清水	100 5~15	0.12~0.2	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	----------------------	-------------	----------	---	---------------------------	---------------------

使用可能上塗り: ウォール(リア)水性無機2+、ウォール(リア)水性F2、ウォール(リア)水性S1、ウォール(リア)水性U、ウォール(リア)水性B10

●弱溶剤仕様(1液タイプ)

3	上塗り	1液ワイドウォールシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.2	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	--------------------------	-------------	----------	---	---------------------------	---------------------

使用可能上塗り: 1液ワイドウォール無機、1液ワイドウォールF、1液ワイドウォールS1、1液ワイドウォールU、1液ワイドウォールB10
※弱溶剤仕様は特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)窯業系サイディングボード以外で既存塗膜を溶解として
存続できる場合は、下塗りを省略できます。

用途

建築物内外壁など

施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 窯業系サイディングボード及びALCパネルのひび割れ、欠損などは、パネル製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。
- コンクリート及びモルタル下地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCファイラーなどで補修し、平滑にしてください。
- ウォール(リア)シリーズ(クリアー除く)を施工する場合、光触媒、無機系、ふっ素樹脂塗料などが施された特殊な下地に塗装する場合は予め付着性を確認の上、本塗装を行ってください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は施工を避けてください。
- 特殊コーティング(ふっ素等)の金属系サイディングボードへ塗装する際は、付着性を十分に確認の上、本塗装を実施してください。
- 吹付施工の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かはんし、均一にしてから施工してください。
- うすめずきは、たるみ、隠れ不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に施工してください。
- つや調整品は、被塗物の形状、膜厚、色相、塗り回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますので、ご了承ください。施工前に必ず試し塗りをを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本施工を行ってください。

金属サイディングボード・一般鉄部など

●素地調整

既存塗膜: SOP・フタル酸樹脂・塩化ビニル樹脂・アクリル樹脂など

工程	塗料	割合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整					●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油類等は溶剤で除去する。

●下塗り

2	下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5※	0.18~0.24	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	----------------------	-------------	-----------	-----	-------	-----------------------------

※ワイドさびストップをスプレー塗装する場合の希釈率は0~10%です。

●上塗り

3	上塗り	1液ワイドウォールシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	--------------------------	-------------	-----------	---	---------------------------	-----------------------------

使用可能上塗り: 1液ワイドウォール無機、1液ワイドウォールF、1液ワイドウォールS1、1液ワイドウォールU、1液ワイドウォールB10
使用可能下塗り: ワイドさびストップ、1液ワイドさびストップ、エポマイルドなど
※塗替え面にさびが発生していない場合は、下塗りを省略することができます。

ウォールバリアクリヤーシリーズ

●上塗り

●吸込みや表面粗さが大さい場合は、3回塗りしてください。吸込みや表面粗さが大さい面に

●水系仕様

3分つやを塗装する場合は白ぼけする場合がありますため、1回目につやありを塗装してください。

2	上塗り	ウォール(リア)水性無機CR 清水	100 0~5	0.12~0.14	2	4時間以上 (最終養生) 16時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	----------------------	------------	-----------	---	---------------------------	---------------------

●弱溶剤仕様(2液タイプ)

2	上塗り	ウォール(リア)BP又はCR 塗料用シンナー	100 0~10	0.12~0.14	2	4時間以上7日以内 (最終養生) 16時間以上	ウールローラー塗り エアレス塗り
---	-----	---------------------------	-------------	-----------	---	-------------------------------	---------------------

※希釈剤は当社塗料用シンナーをご使用ください。

※薄めすぎにより十分な膜厚が得られない場合、性能が悪く低下しますので、割合比を厳守してください。

適用下地

■ウォールバリアクリヤーシリーズ 窯業系サイディングボード各種等

- 「ふっ素塗装サイディング」「無機塗装サイディング」の場合、予め試験塗装を行い、密着性を確認してから本塗装を行ってください。
- 「光触媒サイディング」の場合、塗装を避けてください。
- 塗膜が剥離しているなど窯業系サイディングボードの表面が著しく劣化している場合は、塗装を避けてください。

■クリアー以外のウォールバリアシリーズ 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレート

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。
- もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗いやうがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など

- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。※溶剤系塗料を使用する時は、上記の注意事項に合せて下記事項に注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有毒ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出す時には、こぼれないように注意してください。
もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

注) ① 建物の構造、塗装部位(雨の降りが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
また、製品の詳細な内容が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 ☎ 510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
研究開発本部 ☎ 510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎ 0133-60-6311 東京支店 ☎ 03-5661-2211 名古屋支店 ☎ 052-411-1255
大阪支店 ☎ 072-862-1601 広島支店 ☎ 082-277-1116 四国支店 ☎ 0877-24-4621
九州支店 ☎ 092-938-0071



●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本帳に記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

21/04

取扱店

③